

25

パラパラマンガをつくろう

徳島大学工学部共通講座 岡本 邦也・香田 温人

1. ねらい

みんなが普段テレビや映画で見るアニメは絵が動いてますね。でも本になっているマンガは止まっている絵を順番に見ていきます。この二つはだいぶ違うように思えます。しかし、見えているものがすべて正しいとはかぎりません。昔の歌にもありました♪～misunderstanding all you see (♪～見えるものは誤解だらけ)。

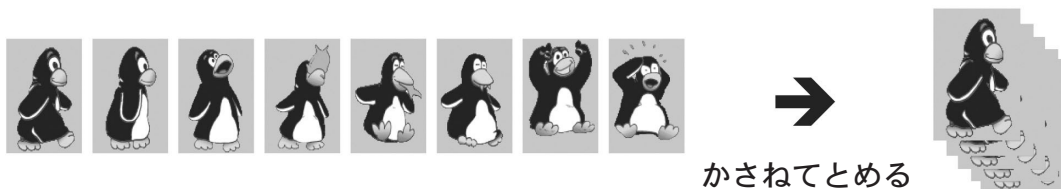
人はものを見たとき、頭の中(脳)で分析してはじめて、なにを見たかが分かるそうです。だから、ときどきまちがえたりもします。特に速く動くものは苦手で、脳内での処理が追いつかず、少し前に見た情報を今見たものと錯覚することがあります。でも、このことを逆に利用すると

止まっている絵を短い間隔で次々に見ることで、あたかも動いているように見える

ことができるようになります。実はテレビで見る映像もこのことを利用しています。今回は、その原理をよく理解できる「パラパラマンガ」を作ってみましょう。みんなのお父さん、お母さんが子供の頃、授業中に教科書のすみにこっそりと書いて遊んでいたものです。

2. つくりかた

少しずつ変わっていく絵をかさねてとめて、パラパラとめくるとうごいているみたいに見えるよ。



カメラの前で、みんなが自由に動いてもらったのをコマ撮りして、みんな自身が絵になった「実写版パラパラマンガ」も作ってみましょう。

